

薬事情報センターに寄せられた県民・医療従事者からの相談事例
(2013年10月)

【適正使用】

Q：使用期限が2013年5月のイドメシン™パップを使って良いか？（県民）

A：使用期限の切れた薬は使用しない。また、使用して重篤な副作用等が起こっても、医薬品副作用被害救済制度の対象にならない。

Q：自分の飲んでいる精神科の薬を友達にあげて良いか？（県民）

A：いけない。指示通り服用する。友達は受診して、適切な薬を処方してもらう。

Q：家族が処方されたムコスタ™点眼液を使ったら、目が痒くて目やにができるが副作用か？（県民）

A：眼科を受診する。他人の薬は使用しない。

【相互作用防止】

Q：エディロール™を服用中。ヨーグルトやスキムミルク等のカルシウムを多く含む食品を摂っているが、問題ないか？（県民）

A：エディロール™はカルシウムの吸収を促進する薬なので、高カルシウム血症を起こすことがあり、注意が必要。摂取していることを医師に伝え、定期的にカルシウム値を測定してもらう。

Q：乳癌治療でホルモン剤を服用中の患者が、高麗人参茶を摂取して良いか？（薬局）

A：高麗人参茶には、エストロゲン様作用があるため、ホルモン感受性疾患のある患者には使用不可。また抗乳がん薬の作用が減弱する。

Q：バイアスピリン™服用患者がイチョウ葉エキス1mg含有の健康食品を摂取。相互作用はどのくらいの量で起こるか？（薬局）

A：明確なデータはない。イブプロフェン600mg/日とイチョウ葉エキス80mg/日の摂取で出血した報告があるが、1mgだから問題ないとは言えない。健康食品の表示は正確でない場合もあり、併用は避ける。

【副作用防止】

Q：娘が産後のダイエットで、タイのMDというダイエット薬をネットで購入し飲んでいて。最近精神的におかしくなってきたが、どうしたら良いか？（県民）

A：「MD（クリニックダイエット）」は医薬品の成分を含有しており、健康被害の恐れがあるため厚生労働省から注意喚起されている。服用を直ちに中止し、医療機関を受診し、保健所にも知らせる。

Q：エレンタール™で下痢をする。対策は？（薬局）

A：希釈するか、投与速度を遅くする。また、乳糖が添加物として入っているので、乳糖不耐症では下痢を起こすことがある。

【アドヒアランス向上】

Q：10年間、デパス™、セレネース™、タスモリン™を服用。やめたいが、医師は服用を指示。なるべく飲まないようにしているが、調子が悪い時もありどうしたら良いか？（県民）

A：勝手にやめない。急にやめると、症状が悪化することがある。調子が悪いのは、薬が必要な状態と思われる。服用しないと、医師は症状の改善が見られないと判断して、増量することもある。医師に状況を説明し指示通り服用する。

Q：帯状疱疹後の痛みで、リリカ™とトリプタノール™を服用中。服用すると、足がガクガクするが、医師は副作用ではないと言った。勝手にやめたら眠れなくなった。どうしたら良いか？（県民）

A：勝手にやめない。急にやめると不眠になることがある。